

# PRESS RELEASE

各位

2024年2月9日  
アイサンテクノロジー株式会社

## 【青葉山グリーン回遊プロジェクト】 自動運転を見据えたEVバス運行調査参画のお知らせ

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：加藤 淳）は、「仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会」※が主催および推進をする、青葉山エリアにおいて自動運転のEVバスを運行するサービスの実証・実装を目指す「青葉山グリーン回遊プロジェクト」に参画いたします。

今回は実証・実装に向けた事前調査として、地下鉄東西線・国際センター駅と仙台城跡の区間で、自動運転技術を搭載したEVバス車両を手動で運行し、自動運転に必要な周辺環境のデータ収集・分析等により技術的課題を把握するほか、利用客の需要・ニーズの調査等を行います。

調査期間中は、無料でバスに乗車でき、現在一般車両は通行止めとなっている市道仙台城跡線を通行するため、短時間で仙台城跡に登城することができます。

### 1 青葉山グリーン回遊プロジェクト概要

#### (1) 協力事業者

パシフィックコンサルタンツ株式会社、A-Drive 株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、株式会社日立製作所

#### (2) プロジェクト内容

回遊性の確保が課題となっている青葉山エリアにおいて、自動運転等を活用した先端的サービスの実証・実装を目指します。今回は自動運転に必要な周辺環境のデータ収集や利用客のニーズ等の調査を行います。

### 2 調査概要

#### (1) 日時

2月11日（日曜日・祝日）、12日（月曜日・振休）、17日（土曜日）、18日（日曜日）の4日間  
※11日（日曜日・祝日）は13時～16時、それ以外は9時～16時

#### (2) 運行区間

国際センター駅～仙臺緑彩館～仙台城跡（往復）、区間全体で約2.4km  
※11日（日曜日・祝日）は仙臺緑彩館～仙台城跡の往復のみ

#### (3) 運賃

無料

#### (4) 検証内容

自動運転機能を備えた EV バス車両を手動で運行し、車両に搭載したセンサーにより、自動運転に必要なルート周辺環境の点群データを取得・分析し、技術的課題を把握します。また、利用者へアンケート調査を実施し、同サービスのニーズや自動運転に対する受容性等を確認します。

※本調査においては、車内で点群データの取得状況をモニター表示する予定です。

#### (5) 運行状況

天候や路面状況により運行休止となる場合があります。

### 3 EV バス車両

車両名	Minibus
自動運転レベル	レベル 4 相当（本調査では手動運転）
乗車定員	25 人（本調査では客席 14 席のみ使用）
最高速度	70km/h（自動運転時は 40km/h）
センシングデバイス	LiDAR／カメラ／RADAR
その他装備	GNSS および IMU



以上

#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

アイサンテクノロジー株式会社

モビリティ事業本部

TEL：052-950-7500

E-Mail：[atam@at45.aisantec.jp](mailto:atam@at45.aisantec.jp)

#### ※【参考】仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会

仙台市におけるスマートシティの先進的な取り組みを進めるため、産学官民の連携のもと、規制改革に向けた提案、先端的なサービスの開発、さまざまに生み出されるデータのデータ連携基盤上における適正かつ効果的な活用等に取り組み、仙台市の地域課題の解決を図り、先端技術等を活用した未来社会の実現を目指す協議会。

仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会ホームページ（※外部リンク）

<https://sendai-tokku.jp/smartcity-sendai/>